

新型コロナウイルス 感染症について

☎健康福祉部健康課(庁舎2階)
担当: 上山萌 ☎43-0432

感染しないために

- できるだけ人混みを避ける。 石鹸を使い、こまめに手を洗う。 不要不急の外出を控える。
- 十分な休養と栄養で体調を整え、免疫力を高める。
- 咳やくしゃみをするときは、口と鼻をティッシュ、ハンカチ、または腕等で覆う(咳エチケット)。

集団感染について

集団感染とは？

集団感染とは、「特定の集団が、共通の場所にある感染源から一斉に感染すること」をいいます。

現在、様々な場所で、小規模の複数の感染者(小規模患者クラスター)が発生しています。

今後、感染の拡大を防ぐためには、小規模患者クラスターが、新たな感染者を生み出す「連鎖」を止めることが、大切です。

集団感染を防ぐために

- 次のような場所を避けましょう
 - 風通しが悪く、空気がこもっている。
 - 不特定多数の人が集まる。
 - たくさんの人が、至近距離で集まり過ごす。
- 次のようなことを心がけましょう。
 - 軽い風邪症状のみであっても、外出を控える。
 - カラオケボックスや自宅での宴会、屋内のコンサート会場など、密室で人との距離が近い環境を避ける。

家族に感染が疑われる場合は

- 帰国者・接触者相談センター(☎42-9436)に相談する。
- 感染が疑われる人と、過ごす部屋を分ける。 感染が疑われる家族の世話をする人をきめておく。
- 自宅でも、マスクを着用する。 石鹸を使い、こまめに手を洗う。
- 換気の頻度を増やし、新鮮な空気を取り入れる。
- ドアノブなど、家族全員が、手で触れる場所を消毒する。
※500mlの水にペットボトルキャップ1杯(約5ml)の次亜塩素酸を含む家庭用塩素系漂白剤を加えると、消毒液を作ることができます。
- シーツやタオル、衣服は、汚れたらすぐに洗濯する。 ※洗濯するときは、マスクと手袋を着用してください。
- ごみは、袋の外に空気が漏れないように密閉して捨てる。

新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ先

新型コロナウイルス感染症についての不明点は、次の相談窓口にお問い合わせください。
☎兵庫県24時間対応コールセンター(相談窓口) ☎078-362-9980

感染が疑われるときは

次のような症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。
 風邪症状や37.5度以上の発熱が**4日以上**(高齢の方、基礎疾患のある方、免疫抑制剤や抗がん剤を服用している方は、**2日以上**)続いている。

- 強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)を感じる。
※妊娠されている方は、早めにご相談ください。

☎帰国者・接触者相談センター(加東健康福祉事務所内) ☎42-9436
受付時間 土曜日、日曜日、祝日を除く平日の9時～17時30分
※土曜日、日曜日、祝日、および夜間(17時30分～翌9時)は、
兵庫県24時間対応コールセンター(☎078-362-9980)にお問い合わせください。

国内で感染が拡大し、市内でも加東市民病院の入院患者様の感染が判明した「新型コロナウイルス感染症」。感染していても、症状がなかったり、軽い風邪と同じ程度の症状のみが表れたりする場合がありますが、このようなときでも、周りの人に感染させてしまうことがあります。自分が感染しない、周りの人に感染させないためには、一人ひとりの「行動」が大切です。

事業で見る 加東市予算

令和2年度重点事業



加東アート館(仮称)整備事業 7,788万円

アートで市内に賑わいを呼び込み、地域の活性化を図るために、旧滝野庁舎の1階部分を改修し、トリックアートを展示する加東アート館(仮称)を開設します。



子育て世帯スマイル交付金 6,889万円

子育て世帯を応援するために、加東市に住居登録がある0歳から5歳までのお子さんの保護者に、対象のお子さん1人あたり年額30,000円を支給します。 ※P30に関連記事



東条地域小中一貫校の整備 15億3,563万円

令和3年度中の新校舎完成をめざし、本体工事に着手するとともに、教科カリキュラムをはじめ、教育活動に係る計画を具体化するなど、令和3年4月の「東条学園」開校に向けた準備を進めます。



都市計画道路「滝野梶原線」の整備 3億9,280万円

平成21年度から整備を進めてきた「都市計画道路 滝野梶原線」が、令和2年7月に予定している「滝見橋」の供用開始により全線開通します。
滝見橋の供用開始に向けて、加古川兩岸の接続道路の整備等を行います。



マイナンバーカードの普及促進 2,970万円

マイナンバーカードの普及促進のため、引き続き、休日申請窓口を開設するとともに、平日の無料顔写真撮影サービスの期間拡大や申請窓口出張サービスなど、カード交付率の向上に取り組みます。また、マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニ等で住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できるサービスを引き続き実施します。



母子手帳アプリの導入 66万円

子育て世代が便利な情報を受け取ったり、妊娠中や出産後のお子さんの成長を記録したりすることができる母子手帳アプリを導入します。



市制15周年記念事業 337万円

市制15周年を市民のみなさんと共に祝い、「ふるさと加東」への誇りや愛着を高めていただくために、記念式典を開催するとともに、記念誌を作成します。



ハザードマップ作成事業 1,210万円

国や県が作成した想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図をもとに、加東市洪水ハザードマップの見直しを行い、浸水想定区域や避難場所を改めて周知します。

※「母子手帳アプリ」は、母子健康手帳の代替となるものではありません。